

研修報告書

焼津市議会議長 様

議員氏名 秋山博子

令和 5 年 7 月 19 日 下記のことについて、研修に参加したため、概要について報告いたします。

研修名	「政策議会をめざして～一般質問を活用し議員活動を検証する～」
研修の目的	議会における議員活動として一般質問の意義・役割を改めて確認し、議員力を高めたい。(主催/廣瀬行政研究所、講師/法政大学法学部・土山希美枝氏)
所 感	<p><u>(1) 政策議会と一般質問～議員と議会の成果を考える</u></p> <p>これまで毎回一般質問に立ってきたが、思うような答弁が引き出せず、議論の工夫や事前の調査が足りなかったのかと力不足を痛感することが多い。土山さんの講義は数年前に一度受講しており今回も熱血講義だった。一般質問は政治家であり議会の一員である議員の知見と活動の集約である、という冒頭の一言からして、引き込まれ、身が引き締まる。では、議会にとっての一般質問とは何か。まず、政策には「正解」はないから「決断」というきっかけが重要で、自治体の決断の権限は最終的には議会にある。つまり意思決定できるのは議会の議決のみという仕組み。一般質問は自治体の政策を間接的に制御する機会と言える。ゆえに、一般質問は議会本来の仕組みに必要。議員の成果は議会の成果、なのである。さらに、一般質問はまず監査機能がありその上に提案機能がある、監査機能のない提案は単なる思いつき質問、困り事イコール一般質問ではない、と。そして最後、もしゼロ回答だとしても行政の見解を議事録に残しておくことに意味がある、と言われた。一般質問の重要性を痛感する。</p> <p><u>(2) 議員活動の対話型検証～事例と対話でめざす議員力の向上</u></p> <p>一般質問の組み立てに際し「論点を絞り、事実を厚くし、問いただす」ための「論点整理シート」の活用や情報収集方法など、技術的な助言もいただく。後半、参加議員同士のグループワークでは他市町の議会でのルールなど意見交換することが出来た。</p>
今後の参考となる事項	<p>●一般質問の意義を認識することができたとともに、政策の意思決定の場にいることの責任の大きさを痛感した。毎回ギリギリまで調べて文献にもあたり組み立ててはいるが、時間切れになってしまうことも多く、次回は「論点整理ノート」を活用してのぞみたい。</p> <p>●政策議会をめざす上で、一般質問を議員一人のものにしないという視点はとても重要な指摘だと思う。県内他市町でいくつかの議会が土山さんの研修を実践していると聞く。焼津市議会全議員で受講できたらどんなに良いかと感じた。</p>

* 上記に書ききれない場合は、適宜別紙を添付してください。

* 参考資料等がある場合は、添付してください。

議員・職員のための 「政策議会」をめざして ～一般質問を活用し議員活動を検証する～



講師：土山 希美枝【法政大学法学部教授】

北海道生まれ。2000年法政大学大学院社会科学部政治学専攻博士課程修了。政治学博士。龍谷大学政策学部教授を経て2021年4月より法政大学法学部教授。著書に「市民と自治体の協働研修ハンドブック」（公人の友社）、「地域公共政策をになう人材育成」（日本評論社）、「対話と議論で〈つなぎ・ひきだす〉ファシリテート能力ハンドブック」（公人の友社）等多数。

先着30名様限定

※ホームページもしくはFAXからのお申込みをもって、受付完了とさせていただきます。
※お電話等での席の確保は出来かねますのでご了承ください。

7月19日(水) 10:00～17:00 in 東京

政策議会と一般質問 議員と議会の「成果」を考える

1. 「政策議会」の基礎理論
2. 一般質問の機能と制度（議員にとっての一般質問、議会にとっての一般質問まとめ）
3. 一般質問を機能させるために（論点を絞る／事実を厚くする／問いただす）
4. 政策議会の「資源」と「成果」
5. 議会と議員の「成果」を市民と共有するために

議員活動の対話型検証 事例と対話でめざす議員力の向上

1. 自己紹介と「議員活動をめぐる疑問や悩み」の紹介
2. 「議員活動をめぐる疑問や悩み」の検証（1）
3. 「議員活動をめぐる疑問や悩み」の検証（2）
4. 「議員活動をめぐる疑問や悩み」の検証（3）
5. 共有とまとめ



このセミナーの注意事項【※必ずお読みください】

- ・ 事前に、googleフォームで「議員活動をめぐる疑問や悩み」を入力していただきます（参加者と講師にはその内容を守秘し、本研修以外の場で用いないことを求められます）。
- ・ 時間の制約から、「疑問や悩み」のすべてを取り上げることができない場合があります。また、類似の「疑問や悩み」は一括して検討する場合があります。
- ・ 講師が「正解」を示すのではなく、参加者同士の事例や対話を通じて自ら発見していく演習的な「対話型検証」がこの講座の目的です。

(株) 廣瀬行政研究所